イエス、〝Y〟canをテーマに委員間交流

熊本YMCAでは、各地域YMCAにボランティアで構成される運営委員会が組織されています(下表)。8月20日(木)、各YMCAの運営委員が一堂に会す「委員交流会」が中央YMCAで開催されました。

実行委員長の田上正さん(むさしYMCA運営委員)による「財政的に厳しい状況ですが、これからも地域に根ざした活動を展開していくことで活路を見出していきましょう」との挨拶で開会。事前に調査されたアンケートの結果や運営委員3名による発題をもとに、今後の活動の糸口を探りました。

発題を行ったながみねファミリーYMCA運営委員の門永充弘さんは「YMCA活動を地域にどう伝え、根付かせていくのかが大事。若い人の力を引き出すことが、会員増強につながるのでは」と述べられました。その後、分団協議も行われ、運営委員会の枠を超え活発な意見交換が行われました。

新常議員会議長にICR・メンバーシップ委員の佐藤典子さん

熊本ジェーンズワイズメンズクラブに所属し、熊本YMCAではICR・メンバーシップ委員を務めています。かつて当時の東部センターの野外活動のリーダーとしてYMCAに関わり、15年ほど前にジェーンズクラブにお誘いを受け、再びYMCAで活動する機会を与えられました。

昨年度は、西日本のワイズメンズクラブを代表する西日本区の理事を務めました。その際にテーマとして掲げた〝思いやりと微笑みをもって〟常議員会議長の責務を果たして参りたいと思っています。

熊本YMCAでは公益法人改革に向けて公益法人移行検討委員会が立ち上げられました。「熊本YMCAの使命」を忘れずに諸問題に取り組んで参ります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

佐藤　典子

熊本YMCA委員会編成　(任期:2009年7月～2011年6月)

(敬称略)

委員会	委員長 副委員長	委　員	担当 職員
中央YMCA 運営委員会	吉本寛治(長) 平野俊晴(副)	池田雪絵　牛島範子　柏尾誠之　桂　秀春　斎藤邦義　下舞睦哉 田中俊夫　中林真理子　福田　稠　村上範年　森川禎子　渡辺　健	神保勝己
上通YMCA 運営委員会	守田富男(長) 鈴木敏雄(副) 古木信子(副)	明石祥子　石田　強　今村秀夫　木下慎太郎　清野　健　島　優子 高橋　平　堤　みか　前田香代子　棟方信彦　村木壮一　森　茂雄	冨森靖博
みなみYMCA 運営委員会	岩永福子(長) 森　博之(副)	井上　新　内村忠生　緒方大介　栗林由美子　桑原純一郎　後藤慶次 杉野茂人　高山與子　時任幸四郎　中川洋一　永野　茂　村上　博 米倉容子　吉本貞一郎	上田潤一
ながみね・ けんぐん 運営委員会	平山俊生(長) 歌野清三(副)	内村公春　緒方健司　小川祐一郎　柏原芳則　門永充弘　菅　正康 篠崎泰子　白木尚登　高濱　潤　中川　功　堀原園江　宮崎隆二 村上澄夫　横田佳恵　横田　博　吉松裕藏	岡山富士男
むさしYMCA 運営委員会	米村謙一(長) 藤本義隆(副)	入佐孝三　最相博子　島村保夫　高橋良明　田上　正　田渕利文 土井尚典　松尾良紀　山尾敏孝　吉岡光憲　来海恵子	寺岡良男
阿蘇YMCA 運営委員会	藤崎岩男(長) 武藤興紀(副)	石田順子　内村　優　梅井俊夫　岡崎源次　河津謙二　五嶋義行 坂田一幸　園田弘美　竹原憲朗　藤本猪智郎	福山裕敏
野外教育 運営委員会	椎葉朋子(長) 川上安生(副)	小山　徹　鮫嶋　哲　白石貴美子　中尾桂子　原田英美　藤田博史 藤本雄介　増田　愛　村上日出一　山脇康司	久保誠治
専門学校 運営委員会	上村眞智子(長) 中村邦雄(副)	岩切和子　江上　緑　江口清一　木本原志　中村陽志　野口チカ子 藤森正彦　松藤由美　渡邉康一朗	依田智義
東部YMCA 運営委員会	亀浦正行(長) 三嶋統吾(副)	赤星文比古　出　玲子　小池美代子　境　肇　坂田謙治　坂本美穂 須古博之　鶴田哲夫　仲井裕司　保田井建　本堀秀一　森枝慶壮	岡　成也
ICR・ メンバーシップ 委員会	加藤國博(長) 小堀鈴代(副)	秋根年子　岩本　悟　金　聖孝　佐藤典子　高口喜美男　俵　哲 長澤忠雄　堀　隆之　村上美和　山田芳之　吉岡久美	神保勝己

アガペ No.42

総主事　堤　弘雄

「戦争で死んだ兵士のこと」

これは、小泉吉宏の著書である絵本のタイトルです。綴られている文章を要約して紹介致します。

のどかな森の中の湖のほとりに、一人の兵士が死んでいる。
4時間前は、戦火に巻き込まれた子どもを助けていた。
2日前、この基地にやってきた。
3日前、本国の基地に召集された。自分が兵士であることを2年間忘れていた。
7日前、両親に恋人を紹介した。
10日前、恋人にプロポーズして将来を誓いあった。
2年前、大学を卒業した。
4年と3ヶ月前に父親の会社が倒産した。奨学金を得るため大学内の陸軍士官学校に入ることを決意した。
8歳の時、近所の犬の顔に落書きをしておこられた。
はじめてのダンスは6歳だった。
3歳のとき、ブランコから落ちて怪我をした。その傷跡は今も残っている。
24年前のきょう、この世に生をうけた。両親が結婚して9年目にできた一人息子だった。

最後は、のどかな森の中の湖のほとりに、一人の兵士が死んでいる場面で終わります。

これは戦争の話ではありません。一人の死んだ兵士の姿が描かれた最初のページから、兵士が数時間前、数日前、数年前は何をしていたか、兵士の人生を遡ります。

私たちは戦争と一言で言いますが、戦争で亡くなる一人一人には愛する家族や友人がいて、両親の喜びと愛情の中で生まれ育まれてきたかけがえのない存在であることを思い知らされます。私たちが、国境や人種や宗教を越えて平和を求め、戦争に反対する根拠をこの小さな絵本は伝えているように思います。

REPORT event

Y's 盲学校の生徒が韓国大邱で交流

■期間／2009年8月7日(金)～10日(月)
■場所／韓国　大邱(テグ)

韓国大邱にある光明学校(盲学校)を中心に、第27回日韓視覚障がい青少年交流プログラムが開催されました。熊本県立盲学校の生徒・教諭12名とこの活動をサポートする熊本ワイズメンズクラブ・YMCA職員3名の総勢15名で訪れました。普段学校で学んでいるマッサージ(按摩)をお互いに体験し合うマッサージ技術交流(写真右)や、韓国の伝統民謡「アリラン」を合同で演奏・合唱するなど音楽交流(写真左)が行われ、意義深い体験となりました。

阿蘇 台湾の学生が阿蘇で研修

■期間／2009年7月17日(金)～1カ月間
■場所／阿蘇YMCA

ICCPJ(国際キャンプカウンセラープログラム)で、台湾から日本語を専攻する大学生熊婉琳さんが実習にやってきました。熊さんにとって、海外へ出るのは今回が初めてのこと。〝熊(くま)リーダー〟の名でサマーキャンプにも参加し、子どもたちのサポートや阿蘇YMCAの宿泊業務などを体験しました。他にもデイキャンプに参加する子どもたちとYMCA学院日本語科の学生との交流プログラムやホームステイなど、充実した研修になったようです。

スポーツ　野外活動　語学　生涯学習　発達障がい支援
キリスト教　キャラクターディベロップメント　取り組み　行事
YMCA全体　中央YMCA　YMCA学院　YMCA学院高等学校 くまもと教育センター　みなみYMCA　上通YMCA　東部YMCA
水前寺 水前寺幼稚園　ながみね ながみねファミリーYMCA　むさし むさしYMCA　阿蘇 阿蘇YMCA　赤水 赤水幼稚園　尾ヶ石 尾ヶ石保育園　永草 永草保育園
リフレス リフレスおおむた　ICR ICR　フィランソロピー協会　Y ミュージカルY!　体育英語幼児園　Y's ワイズメンズクラブ　ユース ユース